



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域人材支援(確保・育成・組織設立)

萩原 幸亮 (はぎはら こうりょう)

兵庫県地域おこし協力隊ネットワーク 副代表



○ 登録者情報

所在地

兵庫県神河町

略歴

- 2011年～ NPO教育支援協会北海道所属に所属し、東日本大震災復興支援として「ふくしまキッズ」事業を事務局担当として取り組む
「復興教育支援事業」(文科省)の担当として業務に取り組む
「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」(内閣府)の主担当として業務に取り組む
- 2013年～ 「合同会社 北海道観光まちづくりセンター」事務局長就任
「地域おこし協力隊」制度に関する地方自治体支援を行う(募集、隊員フォロー、起業等)
- 2015年～ 農林水産省「農山漁村活性化支援人材バンク」登録
「都市農村共生・対流総合対策交付金事業」(農林水産省)の責任者として取り組む
「まちむら地域・人づくり現地セミナー」(都市農山漁村交流活性化機構主催)のパネリストとして登壇
「子ども農山村交流プロジェクト北海道ブロック協議会」を開催
「地域おこし協力隊支援(市町村マニュアル策定、募集フェア開催等)」(北海道)の業務に取り組む
- 2017年～ 神河町地域おこし協力隊 就任
「かみかわ銀の馬車道まちづくり協議会」事務局としてイベント開催など都市交流拡大に取り組む
兵庫県地域再生大作戦 大学等との連携事業により兵庫県立大学と連携した取り組みを開始
- 2018年 「地域おこしフォーラムinやぶ」(神戸学院大学主催)のパネリストとして登壇
- 2019年 兵庫県地域おこし協力隊OB・OGネットワーク組織設立準備会の副委員長として、兵庫県の地域おこし協力隊及びOB等による地域活性化を検討

○ 地域人材支援(確保・育成・組織設立)

取組の内容

地方部において、人材の確保、人材の育成や起業創業、地域資源活用、交流活動の促進など事業推進にあたり導入から継続性の担保につながる多様な指導や支援が可能となる。
地域おこし協力隊事業(田舎ではたらき隊)などの事業の支援経験があり、兵庫県において現役の協力隊や経験者、自治体担当者に対して支援が期待されている。(兵庫県地域おこし協力隊OBOGネットワーク委員会 副代表)
上記について北海道と兵庫県など複数の地域での相互の連携や交流などが期待できる。
また兵庫県立大学インターンシップの受け入れ実績もある。

実績

地域おこし協力隊事業支援として30自治体、100名以上の協力隊の支援実績
地域活躍人材の(地域おこし協力隊、田舎で働きたい)定着率は8割以上
兵庫県立大インターンシップ受け入れ(2017年度から)

工夫した点や苦勞した点

一般的に言われていることや常識と言われている物事や考え方からはらず、地域性やその地域の住民の考え方などを踏まえて提案することを大切に考えています。また、当事者の皆様との活動を基本的にしていますので機運の醸成にいつも留意しています。

ひとことPR

経験談や事例の紹介だけでなく、実際に現場に入り実際に活動を共にさせていただくのが私の強みです。対象者とらわれずやらせていただきます。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進	○	11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

連絡先

メールアドレス	info〔アットマーク〕machiplus.jp	その他	
---------	--------------------------	-----	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。